

クラブ会長と

幹事さま

思えば昨年六月七日(土)に新大阪ホテルにおける地区協議会で、クラブ会長の皆さまに(大部分の方には初めて)お目にかかりまして以来ちょうど一カ年たちました。ほんとうに早く過ぎ去った一年でありました。その間に、公式訪問、インターシテイ、また、その外にもたびたびお話しをさせていただく機会を与えられまして、心からありがたく存じております。各地の有力な方がたとお知り合いになり得たことは全くロータリーなればこそとしみじみ考えます。

と、予想されたよりもはるかに仕事量が沢山あって、はるかに多くの時間をロータリーのためにお割きになったことと思います。

こころみに、クラブ会長さま方が、平均して毎週十時間をロータリーのために当てられたとすれば、一年に五〇〇時間を費やされた勘定です。地区内に八二人の会長さまがおられますから(年度途中の新設クラブを除いて)総計四万一千時間の奉仕をなされたことになります。恐らくロータリーの他には、まじめにこれほどの時間奉仕をされる団体はあるまいと信じます。全くありがたいことであります。

過ぎた一カ年を回顧なされて、成功されたこと、されなかったこと、いろいろありましよう。しかし成果の多少にかかわらず、とにかくよいことをしたとお感じのことと信じます。私自身も、最初期待したようには達成できなかった点多くありますけれども、一生懸命にやれるだけはやったということ満足しております。これが

ロータリーというものの報酬かと考えます。どうぞ後継のクラブ会長さんに、あなたの体験をありのままにお話し下されて貴クラブの一層の前進のために、万事よろしく引継ぎをしていただくようお願いいたします。

一年間、至らぬ私にあらゆるご協力を惜まれなかったご厚意に対し深謝申し上げます。幹事さん・各役員の方々にもよろしくご伝言下さい。

× × ×

さて、会長、幹事の皆さんに私がお願ひできる最後のこの機会を借りて、ロータリークラブの活動に最もふさわしく、また、ロータリーがなさねばならない活動について申述べさせていただきます。月信第六号(十二月一日付)にもこの欄ですでに申上げたのですが、それは公害問題です。

「カラーテレビ、自動車は四世帯に一台、電気洗たく機、冷蔵庫、掃除機の三種の電器」はほぼ全家庭に普及し、アメリカに次いで世界第二位——これは総理

府統計局がこのほど発表した昭和四十四年全国消費実態調査の発表の中の文句であります。まさに「経済大国」日本にふさわしいいろいろの数字が並んでおり、その限りにおいてはご同慶の至りと申せましよう。

さりながら——と、ここで一言口をはさみたいのであります。

FAO(食糧農業機関)WHO(世界保健機関)合同の食品コーデックス委員会の第五回食品表示専門委員会が、四月六、八の両日イタリアのローマで開かれたが、これに出席した川井克俊氏(公正取引委員会)はこう書いております。いわく「ローマの空港に降り立ったとき、空はすきとおるばかりの青空、日本では忘れかけていた「日本晴れ」という言葉を久しぶりに遠い異国で思い出すほどであった。人間が人間として生活をしていくためには、生活環境をそねなりにつくり上げるといことが大切な要素です。青空を仰ぐことのできない東京と、あくまで澄みきった青空と、歴史的遺跡をい